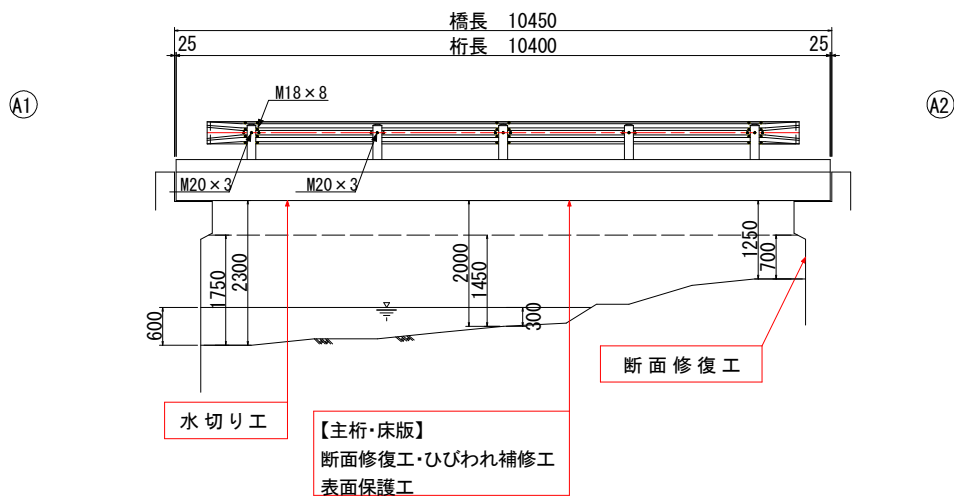
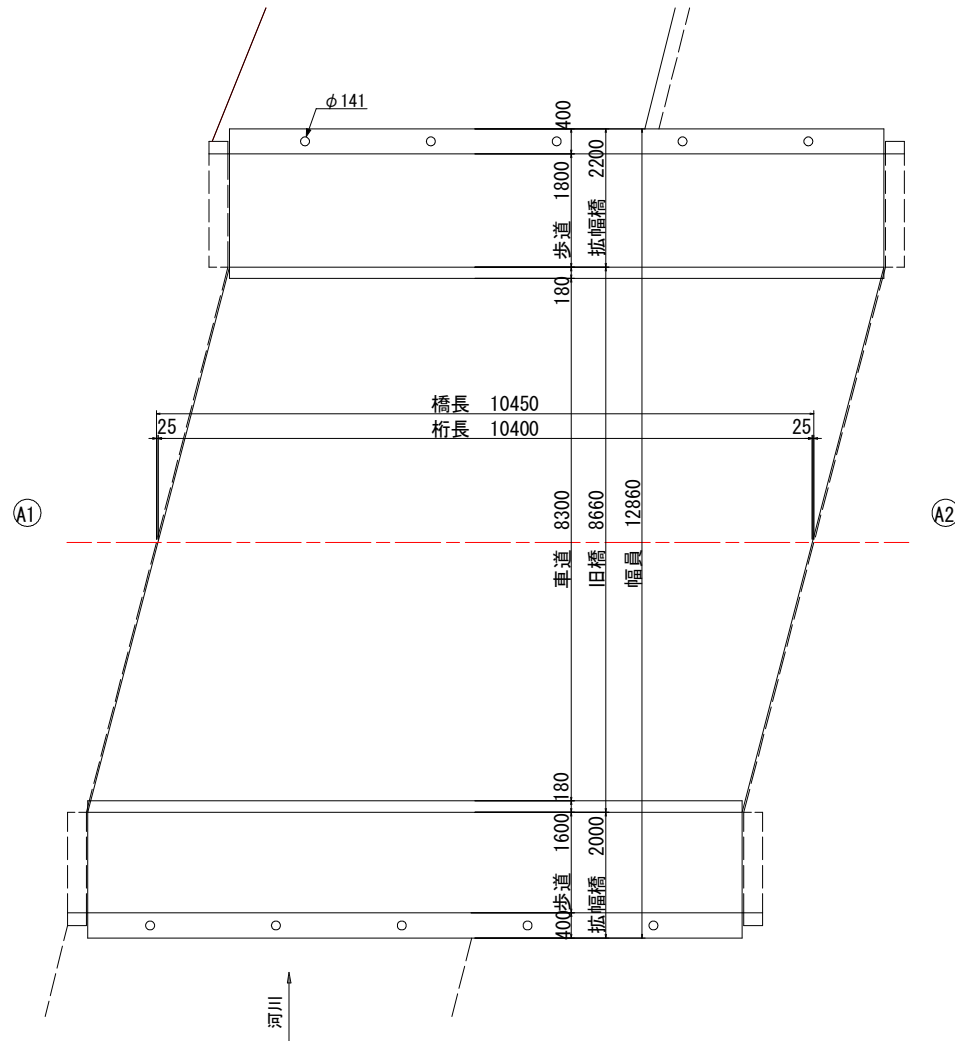


立川橋 補修一般図 S=1:60

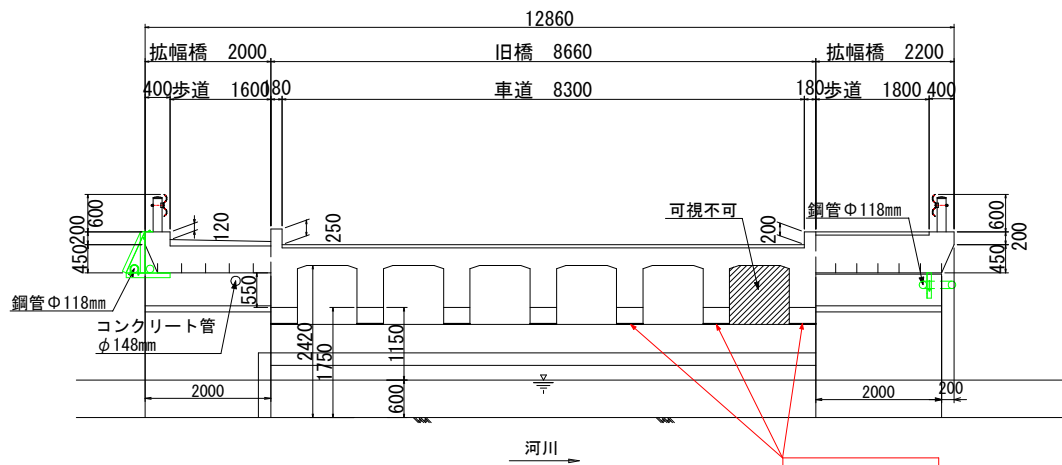
側面図



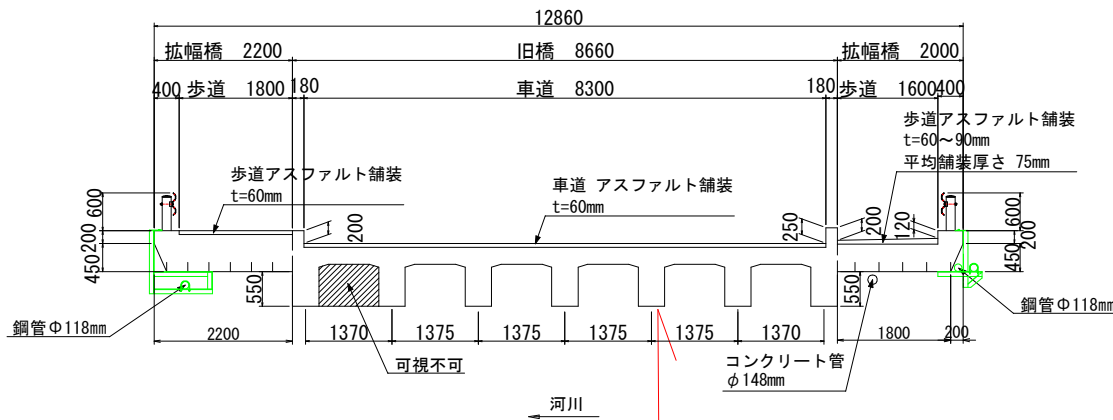
平面図



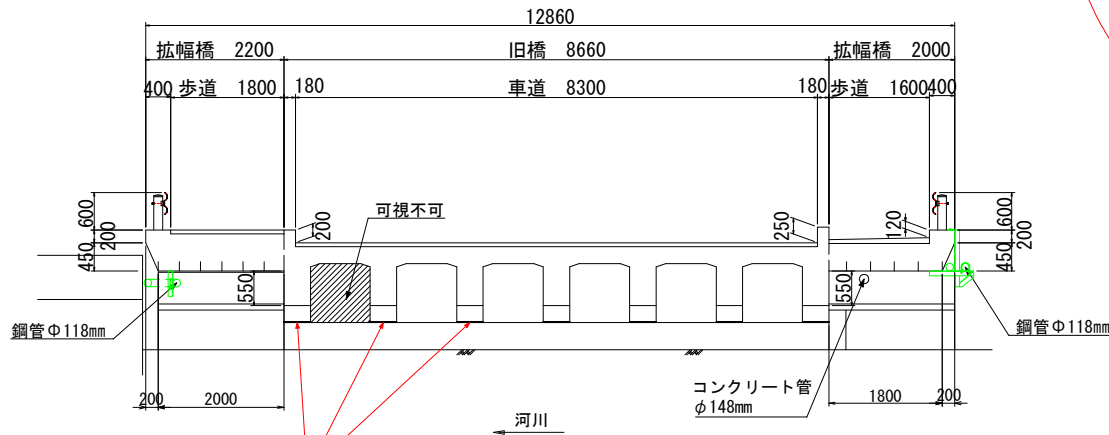
A1橋台正面図



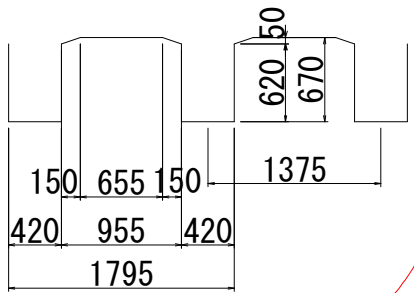
断面図



A2橋台正面図



桁 詳細図



工事名	県道岡山倉敷線（立川橋）橋梁補修工事（R8）		
図面名	立川橋 補修一般図		
施工年度	令和8年度		
縮 尺	図 示	図面番号	1/6
位 置	岡山市北区久米地内		
発注者	岡山市北区役所地域整備課		

立川橋 床版下面・地覆補修図

S=1:40

※斜線部は可視不可箇所

下流側地覆展開図

表面保護工 6.24m²-図上計測

床版下面図

10400

水切工 L=10.40m

表面保護工 25.22m²-図上計測

表面保護工 9.88m²-10.40×0.95

表面保護工 9.88m²-10.40×0.95

表面保護工 9.88m²-10.40×0.95

表面保護工 9.88m²-10.40×0.95

表面保護工 9.88m²-10.40×0.95

可視不可

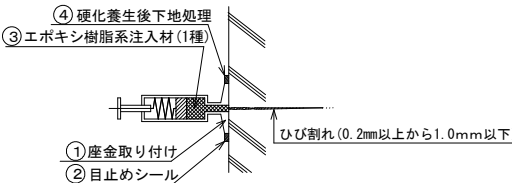
表面保護工 19.18m²-図上計測

水切工 L=10.40m

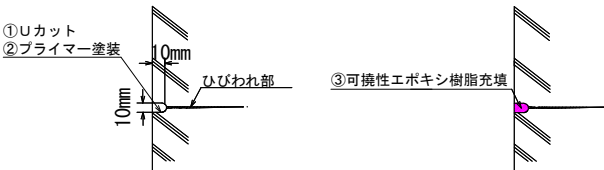
上流側地覆展開図

表面保護工 8.24m²-図上計測

ひびわれ注入工



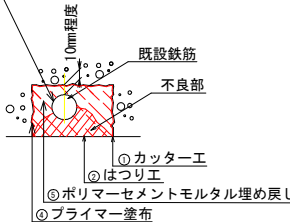
ひびわれ充填工



断面修復工
(左官工法)

d=5cm

① 錆び落とし後防錆ペスト塗布 (無筋の場合不要)



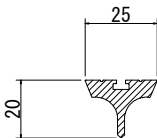
表面保護工

①下地処理工 (サンダーケレン)

②ケイ酸リチウム・シラン混合型防水材 0.15kg/m²

注記) 施工に当っては現地計測の上 施工数量を決定の事。

水切工断面形状
独立気泡スポンジ (EPDMゴム系)



補修工法凡例

損 傷	記 号	補修対策工法
ひびわれ (0.2~1.0mm) 図中の数値は長さ (m) を示す。	0.60	ひびわれ修復工
うき・剥離 図中の数値は面積 (m ²) と幅×高さ (m) を示す。	0.08m ² -0.40×0.20	断面修復工
鉄筋露出 図中の数値は面積 (m ²) と幅×高さ (m) を示す。	0.08m ² -0.40×0.20	断面修復工
変形・欠損 図中の数値は面積 (m ²) と幅×高さ (m) を示す。	0.08m ² -0.40×0.20	断面修復工
コンクリート表面劣化部		表面保護工
コンクリート表面漏水部		水切設置工

表面保護工合計 108.28m²

注記) 施工に当っては現地計測の上 施工数量を決定の事。

工事名	県道岡山倉敷線 (立川橋) 橋梁補修工事 (R8)		
図面名	立川橋 床版下面・地覆補修図		
施工年度	令和8年度		
縮 尺	図 示	図面番号	2/6
位 置	岡山市北区久米地内		
発注者	岡山市北区役所地域整備課		

表面保護工合計 102.36m2

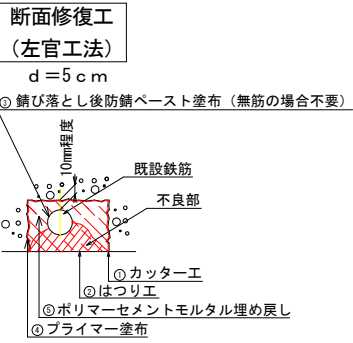
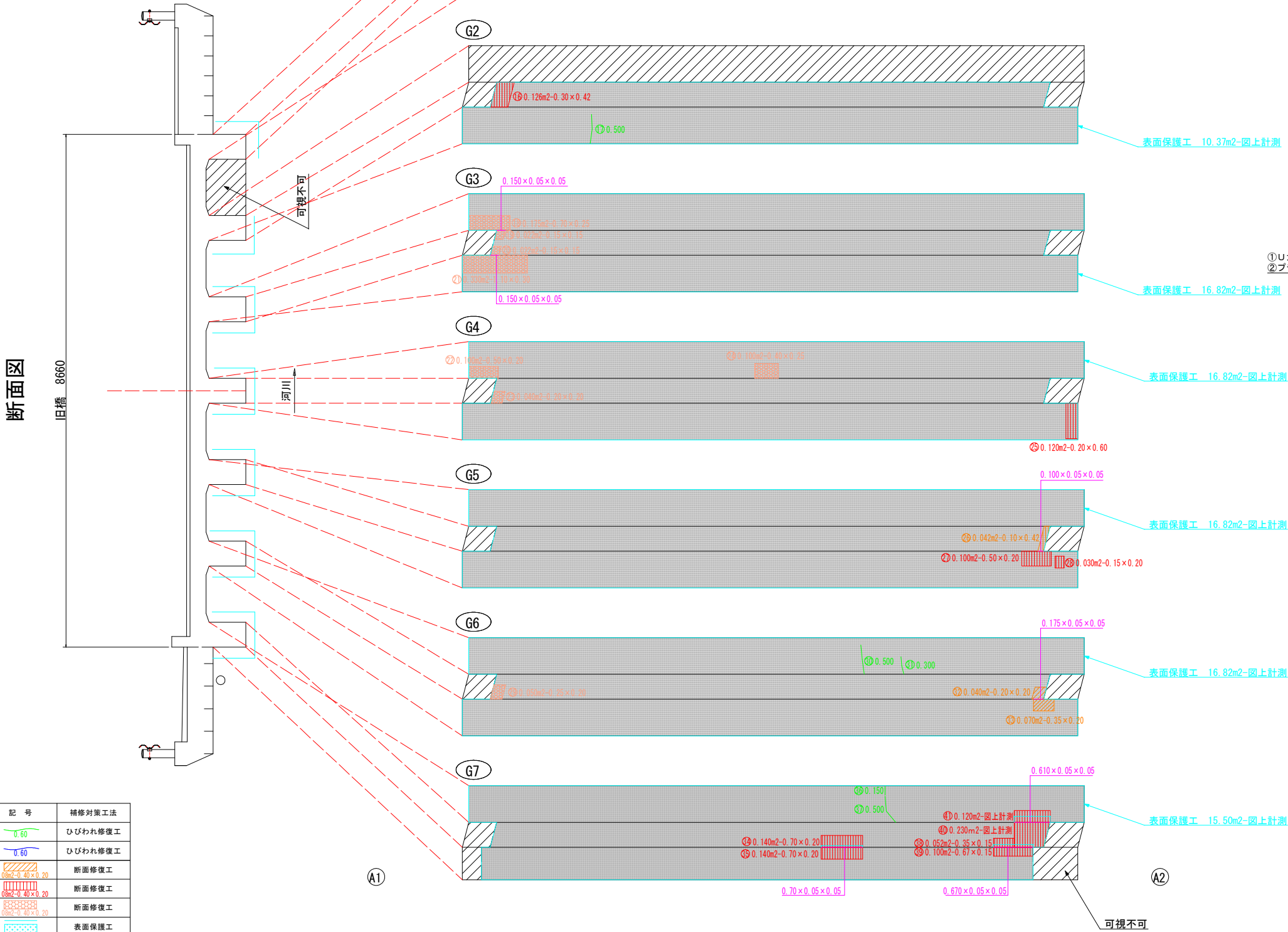
立川橋 旧橋主桁補修図
斜線部は可視不可箇所

S=1:40

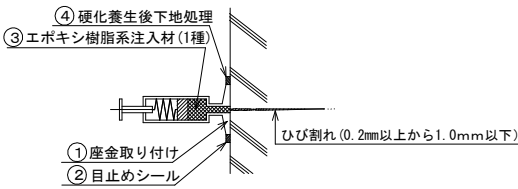
主桁 重複箇所（側面と下面）

主桁	計算式	m3
G3	$L=0.300 \times 0.05 \times 0.05$	0.001
G5	$L=0.100 \times 0.05 \times 0.05$	0.001
G6	$L=0.175 \times 0.05 \times 0.05$	0.001
G7	$L=1.980 \times 0.05 \times 0.05$	0.005
合計（断面修復面積-0.008m3）		0.008

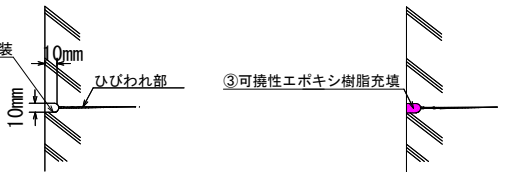
主桁展開図



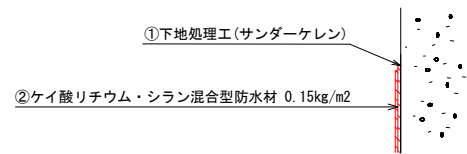
ひびわれ注入工



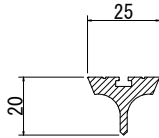
ひびわれ充填工



表面保護工



水切工断面形状
独立気泡スポンジ（EPDMゴム系）



注記）施工に当っては現地計測の上 施工数量を決定の事。

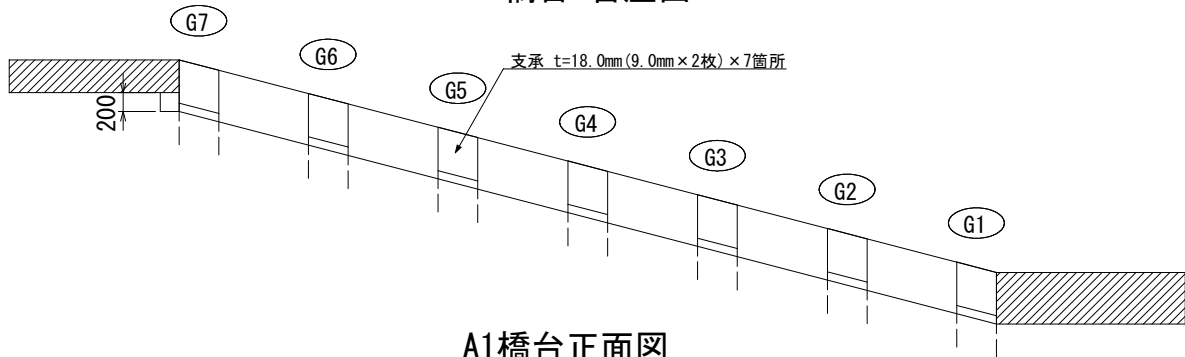
補修工法凡例

損 傷	記 号	補修対策工法
ひびわれ（0.2～1.0mm） 図中の数値は長さ（m）を示す。	0.60	ひびわれ修復工
ひびわれ（2.1～3.0mm） 図中の数値は長さ（m）を示す。	0.80	ひびわれ修復工
うき・剥離 図中の数値は面積（m2）と幅×高さ（m）を示す。	0.08m2-0.40×0.20	断面修復工
鉄筋露出 図中の数値は面積（m2）と幅×高さ（m）を示す。	0.08m2-0.40×0.20	断面修復工
互板 図中の数値は面積（m2）と幅×高さ（m）を示す。	0.08m2-0.40×0.20	断面修復工
コンクリート表面劣化部		表面保護工

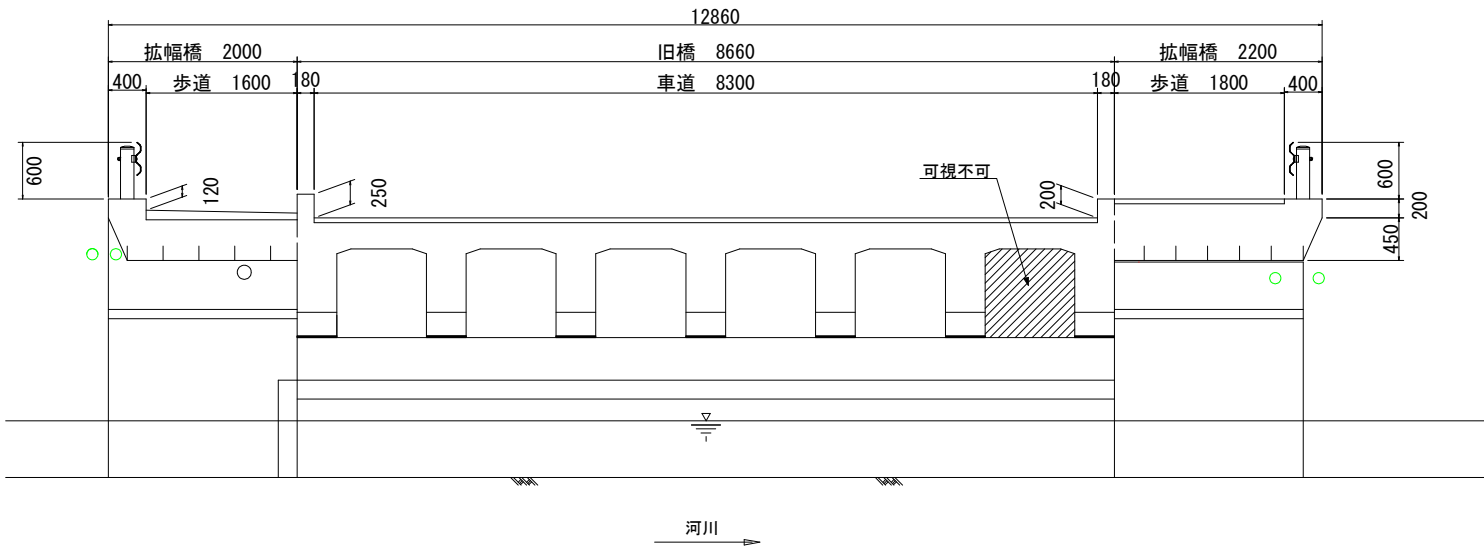
工事名	県道岡山倉敷線（立川橋）橋梁補修工事（R8）		
図面名	立川橋 旧橋主桁補修図		
施工年度	令和8年度		
縮 尺	図 示	図面番号	3/6
位 置	岡山市北区久米地内		
発注者	岡山市北区役所地域整備課		

立川橋 橋台補修図 S=1:40

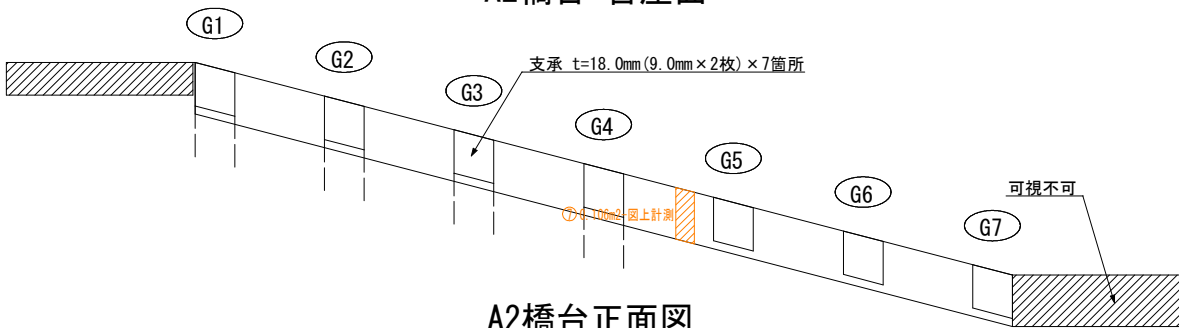
A1橋台 沓座面



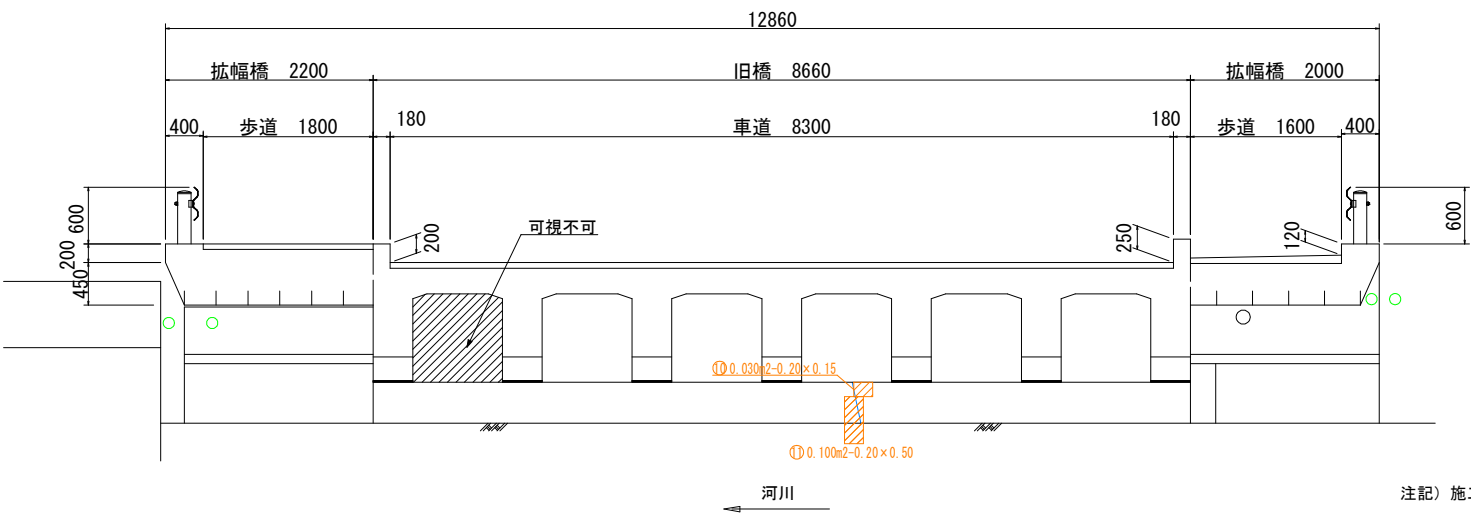
A1橋台正面図



A2橋台 沓座面



A2橋台正面図



断面修復工
(左官工法)

d=5cm

① 錆び落とし後防錆ペースト塗布（無筋の場合不要）

② 10mm程度

既設鉄筋

不良部

③ カッター工

④ はつり工

⑤ ポリマーセメントモルタル埋め戻し

⑥ プライマー塗布

補修工法凡例

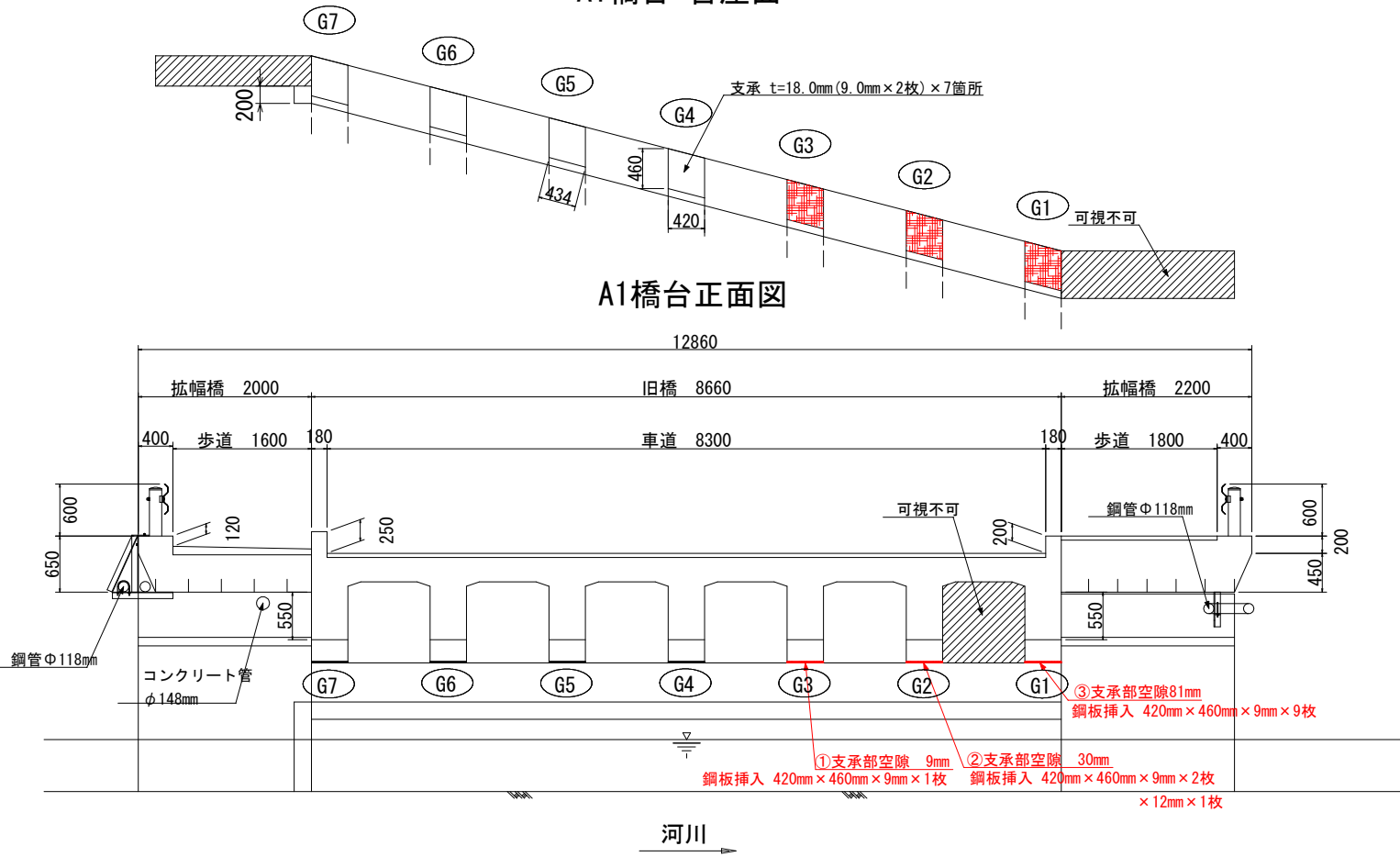
損 傷	記 号	補修対策工法
うき・剥離 図中の数値は面積(m2)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m2-0.40×0.20	断面修復工

工事名	県道岡山倉敷線（立川橋）橋梁補修工事(R8)		
図面名	立川橋 橋台補修図		
施工年度	令和8年度		
縮 尺	図 示	図面番号	4/6
位 置	岡山市北区久米地内		
発注者	岡山市北区役所地域整備課		

注記）施工に当っては現地計測の上 施工数量を決定の事。

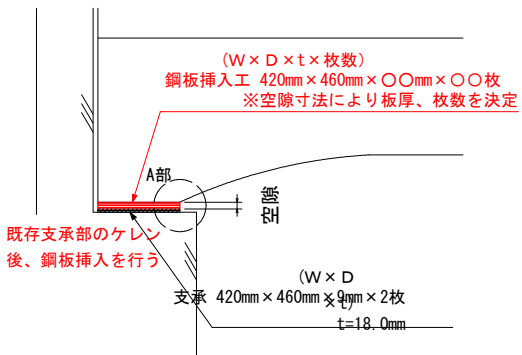
立川橋 支承補修図 S=1:40

A1橋台 沓座面

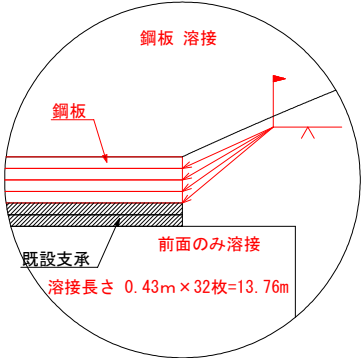


A1橋台正面図

支承補修部 詳細図



A部 拡大図



鋼板数量

橋台	主桁	空隙量 mm	仕様鋼材寸法 (W×D×t) mm	枚数		重量 kg	
				鋼材t9.0	鋼材t12.0	鋼材t9.0	鋼材t12.0
A1	G1	81	420×460×9	9		122.85	
	G2	30	420×460×9	2		27.30	
			420×460×12		1		18.20
A2	G3	9	420×460×9	1		13.65	
	G1	99	420×460×9	11		150.15	
	G2	54	420×460×9	6		81.90	
	G3	21	420×460×9	1		13.65	
			420×460×12		1		18.20

鋼板数量 合計

仕様鋼材寸法 (W×D×t) mm	枚数	総面積 m2	総重量 kg
420×460×9	30	5.70	409.5
420×460×12	2	0.38	36.4

※特記なき材質はSS400とする。

鋼板重量 420mm×460mm×9mm

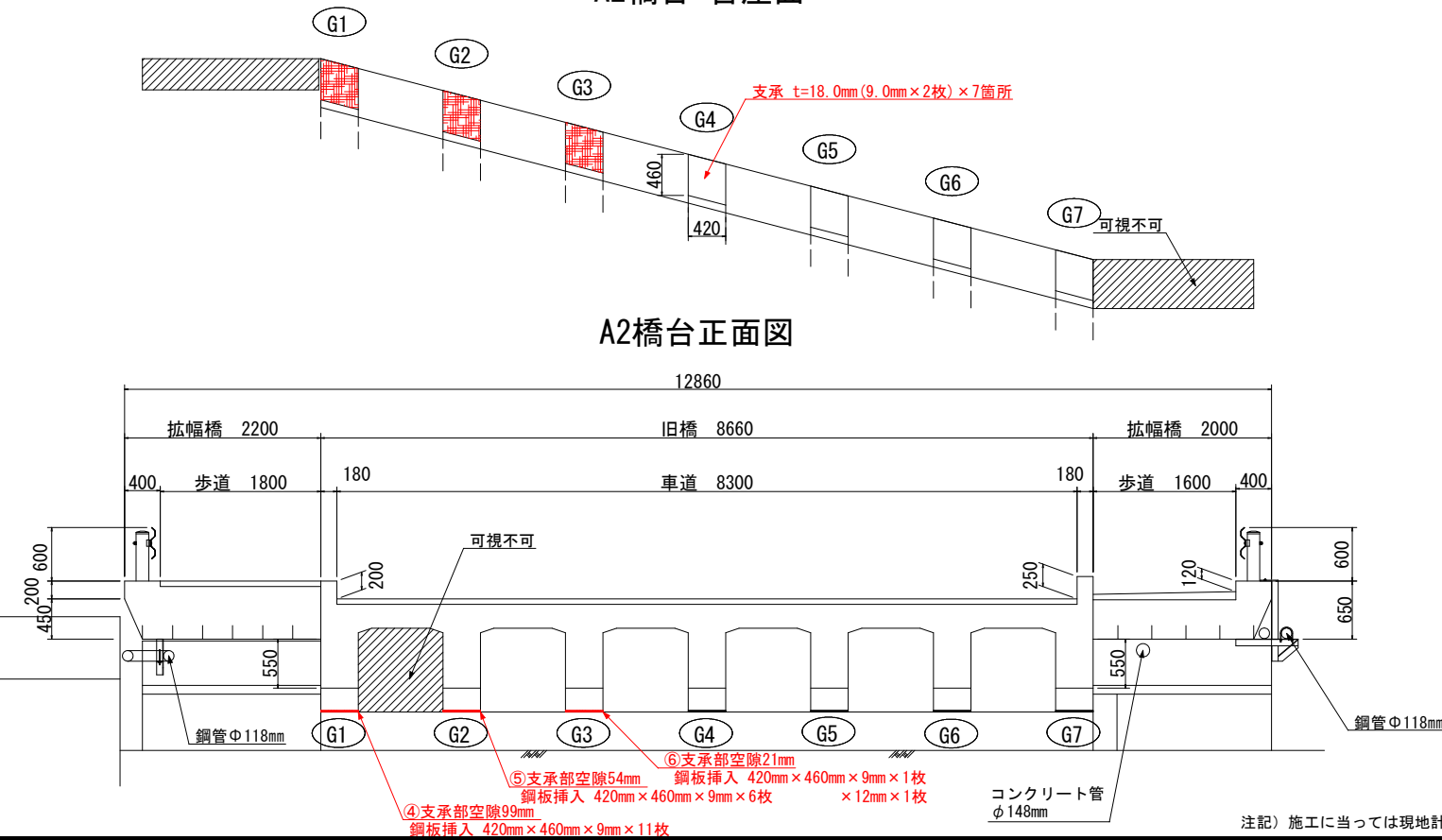
420×460×9/1000×7.85=13649.58g
=13.65kg

420mm×460mm×12mm
420×460×12/1000×7.85=18199.44g
=18.20kg

補修工法凡例

損傷	記号	補修対策工法
支承部の空隙 図中の数量は面積(m2)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m2-0.40×0.20	鋼板挿入工

A2橋台 沓座面



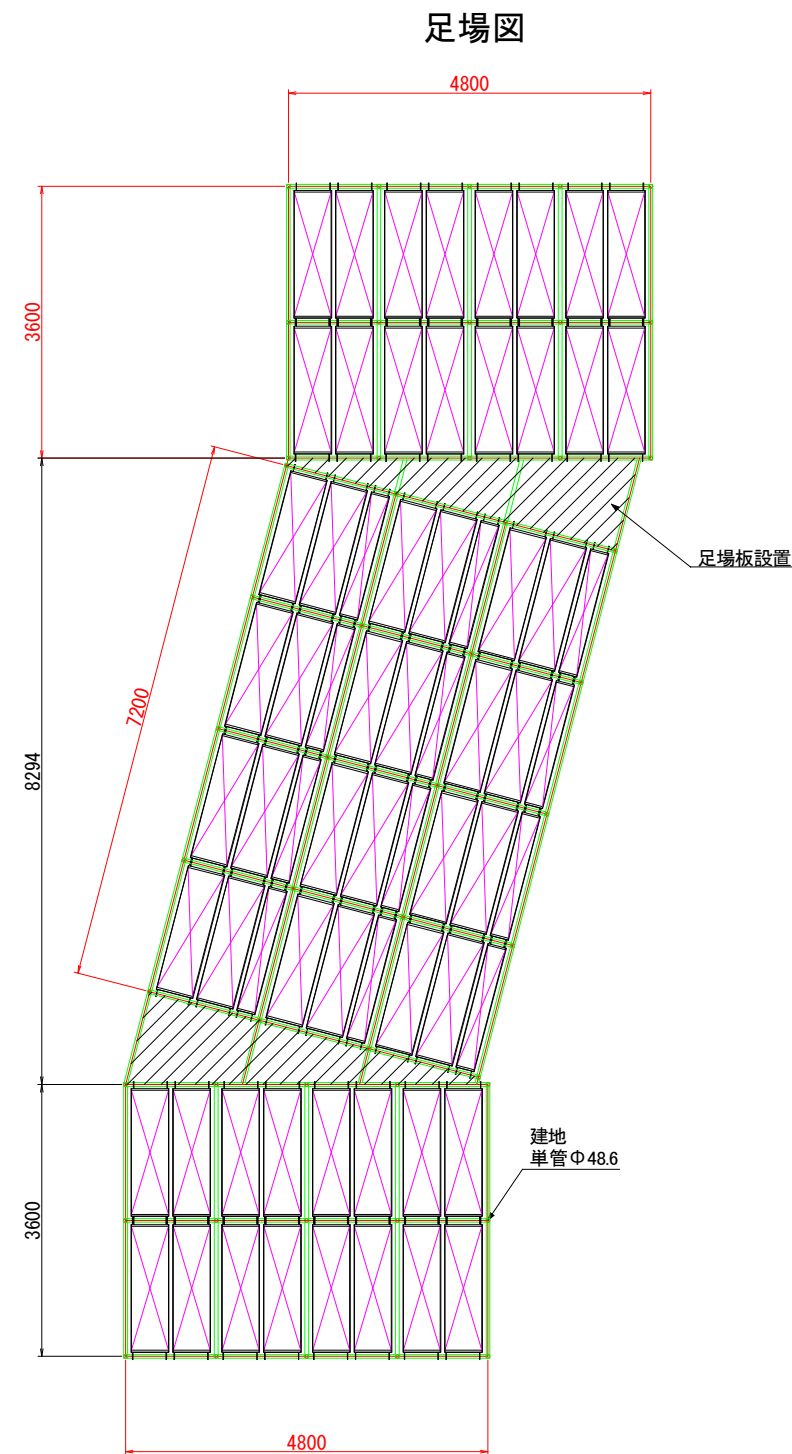
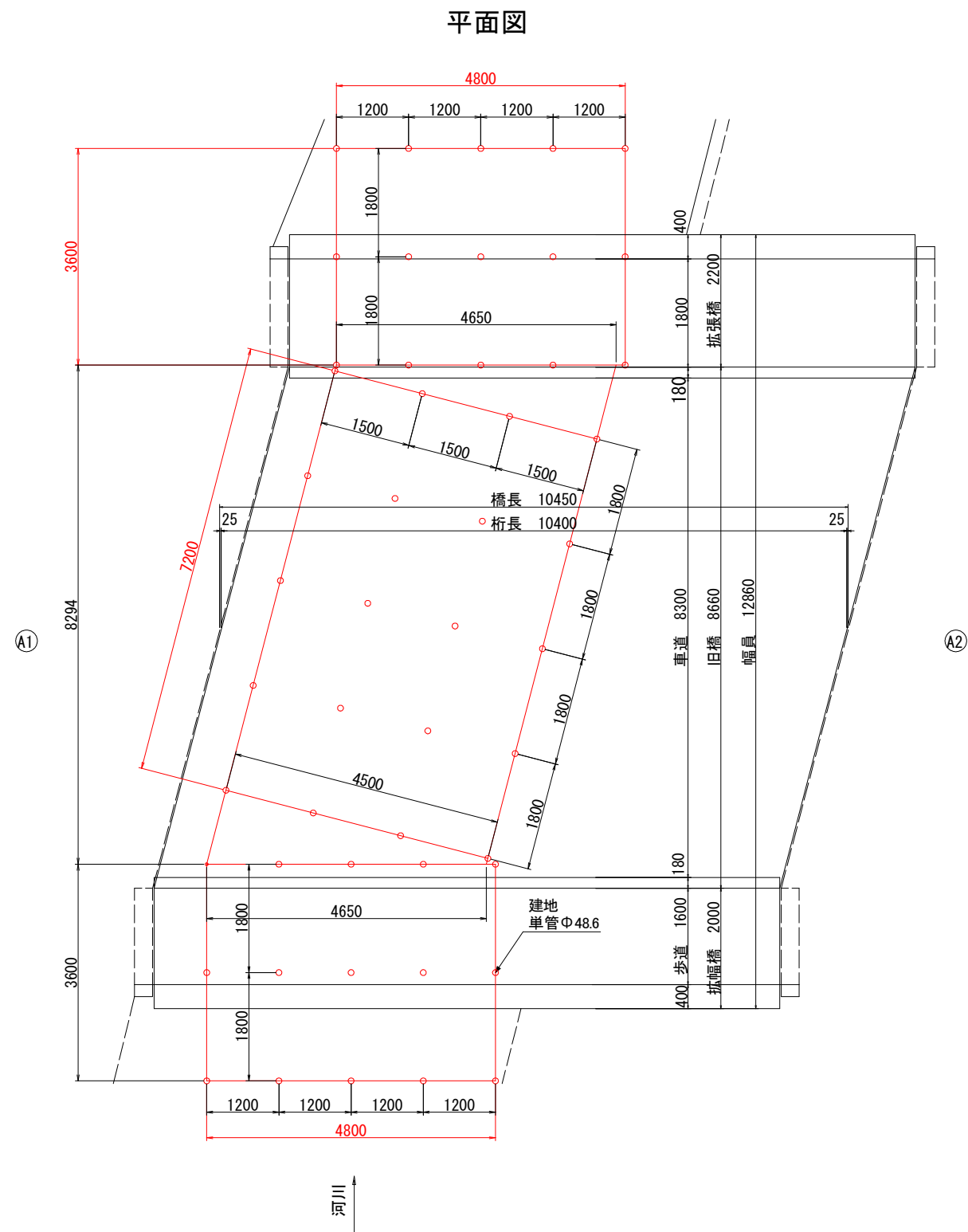
A2橋台正面図

注記) 施工に当っては現地計測の上 施工数量を決定の事。

工事名	県道岡山倉敷線(立川橋)橋梁補修工事(R8)		
図面名	立川橋 支承補修図		
施工年度	令和8年度		
縮尺	図示	図面番号	5/6
位置	岡山市北区久米地内		
発注者	岡山市北区役所地域整備課		

立川橋 足場仮設図(参考図) S=1:50

注記) 建地については、良好な層に定着させること。



水上単管足場 数量表

名 称	計 算 式	面 積
水 上 単 管 足 場	$(8.29 \times 4.65) + (4.80 \times 3.60) \times 2$	73.11 m ²
合 計		73.11 m ²

注記) 施工に当っては現地計測の上 施工数量を決定の事。

工事名	県道岡山倉敷線(立川橋)橋梁補修工事(R8)		
図面名	立川橋 足場仮設図(参考図)		
施工年度	令和8年度		
縮 尺	図 示	図面番号	6/6
位 置	岡山市北区久米地内		
発注者	岡山市北区役所地域整備課		